

畜産業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	1	16～17	厩舎2階でバツカン受け入れ作業中、バツカンを落とす穴から落下した。	50	414	1	10～29
2017	1	20～21	牛舎内での搾乳作業後、洗車機でパーラー室を洗浄するためノズルを持ちながら階段を上ったところ、足を踏み外して2～3段目の高さから落下した。その際に右膝上部を階段に強打し、翌日に腫れてきた。	42	413	1	1～9
2017	1	11～12	育成牛舎において除糞作業を行い、作業終了後、牛を通行止めにしていたものをはずしてまとめていたとき、後方より牛が接近し、柵側に強く押されたため、鉄柵で胸を強打した。	73	719	6	1～9
2017	1	13～14	2号牛舎においてロールカッターの脇で倒れているのを発見した。	62	169	7	
2017	1	14～15	作業場内にて、バーコン下トレイを清掃する為に、バーコン足場（約20kg）を持ち上げようとしたところ、腰に痛みがはしり、歩くのも困難となった。	46	379	19	10～29
2017	1	13～14	かくはん機のメンテナンスを行う為、グリスとグリスガンを持ち、脚立で側壁棧に上がり、棧づたいに移動中にバランスを崩し約2mの高さから墜落した。ヘルメットは着用していたが、安全帯はしていなかった。	41	418	1	30～49

2017	1	14~ 15	総合牛舎育成牛房にて、育成牛の臀部をブラッシングしようとしたところ突然、その牛（メス・推定体重250kg）が頭を向けて襲ってきて、体を突き飛ばされ、左わき腹を鉄柵にぶつけ負傷した。当日は湿布を貼り痛みを我慢したが、左肋骨2本（7、9）骨折との診断を受け、後日に肋骨以外に腰部の痛みも感じ始めた。	60	921	90	50 ~ 99
2017	1	14~ 15	牛を配置する作業中、牛と柵をつないでいたロープを片手でほどこうとしたところ、牛が突然後退したため、スタンション（牛の頸部を挟んで安定させるつなぎ止め具）が動き、間に右手が挟まれ、小指を負傷した。	21	911	7	1~ 9
2017	1	7~8	地下道通路において、調教終了後の帰厩の際、護馬が突然走りだし、その近くにいた他馬に左足首を蹴られ、同部を負傷した。	35	719	6	10 ~ 29
2017	1	15~ 16	馬房内において、馬房内清掃中、該馬が突然暴れて追突し、左鎖骨部分を強打し負傷した。	40	719	6	1~ 9
2017	1	14~ 15	牛削蹄作業中、牛を移動している際に牛が突然走り出し、つられて前に出ようとした際、柱と牛に挟まり鎖骨骨折となった。	24	719	7	—
2017	1	7~8	鶏舎内で、鶏を詰めた移動台車を押して通路を移動していた時、移動台車の脇を人が通過しようとした為、速度を落として徐行した。その際、後続の移動台車を押していた者が気付かず、当事者の背中に移動台車が接触し、前のめりになった際に右足の爪先が通路グレーチングに引っ掛かり、足の甲から指が反り返ったため親指・中指・小指を骨折した。	61	417	7	100 ~ 299
2017	1	7~8	牛の出荷作業中にロープを引っ張って移動させようとした際、嫌がった牛が右側から当たって来た為、反動で反対側の柵に衝突した。	55	719	6	10 ~ 29
2017	1	14~ 15	寒冷斜ネットを取り付け中、7段の脚立から降りようとした際に足を踏み外して落下し、左あばら骨を骨折し、肺に穴があいた。	61	371	1	1~ 9

2017	1	14～ 15	当事業場にある鉄工ヤード内において、天井クレーンの稼働域上に、天井から垂れ下がり障害となっていたブレースを外すため、被災者が油圧ショベルのバケット背に乗り、ブレースをガス切断していた。その際、切断したブレースが油圧ショベルの運転者へ落下し、それを振り払った手が操作レバーに触れ、油圧ショベルが大きく旋回し、バランスを崩した被災者が足から落下し負傷した。	54	142	1	10 ～ 29
2017	1	14～ 15	農場内肉豚舎で、出荷する豚を豚舎から出そうと追い込みをしている時、座り込んで動かない豚の首付近を手で押して動かそうとしたところ、急に豚が手袋の上から噛みつき、左手中指爪先を切断した。	39	719	7	30 ～ 49
2017	1	13～ 14	自社作業場で、白砂の石を除去する作業の準備をしていた。作業場の雨よけのスレートを除けようとした際、足を踏み外して、そのまま1.5m下へ落下した。普段は1人でする作業のため、カバーとして いるスレートを引っ張るだけなので、すき間を意識することはない。今回はたまたま2人で作業したため、すき間の存在を忘れて移動してしまい、足を滑らせた。	64	391	1	1～ 9
2017	1	11～ 12	牧場内で、パワーショベルのグラップル（爪）を使用し、オイルの入っていた空のペール缶を潰す作業をしていた。作業中に缶が爪にはさまり、被災者が手袋をはめて缶を爪から蹴って外していた。その際、バランスを取るためグラップルの支点の部分に手を置き作業していたが、重機の運転手からは見えておらず、蹴りやすいように少しグラップルを広げたところ、支点到指を挟みこみ、右手指を負傷した。なお、運転手は重機運転に関する免許は持っていなかった。	22	142	7	1～ 9
2017	1	8～9	休憩室を出て、豚舎へ向かおうとしたところ転倒し、右手首を骨折した。前日からの強い冷え込みのため、路面が凍結しており、ゴム長靴を着用していたこともあり、誤って足を滑らせ、進行方向に向かって右側後方に転倒したものである。その際に慌てて右手をつい	58	417	2	—

			たが、更にその上に尻が乗る形となり、右手首を骨折した。				
2017	1	16~ 17	トラックで運んできた牛を牧場内で降ろす作業をしている際、牛が暴れ出してしまい、被災労働者の右肩にぶつかって負傷した。	61	911	6	1~ 9
2017	2	14~15	会社敷地内の豚舎の屋根の雪下ろしをしていて、約7mの高さから転落した。	61	415	1	1~ 9
2017	2	9~10	牛舎内で去勢手術中にカッターで左手人差し指を切ってしまう、病院で縫合した。	32	364	8	—
2017	2	6~7	事業主経営牛舎内に於いて搾乳作業の為に牛を移動させていたところ、立てない牛がいたため、事業主を呼びに行こうとした際、足もとが凍っていたため、転倒し、右手首を骨折したものである。	26	719	2	1~ 9
2017	2	15~16	馬房内において仔馬の手入れ中に母馬が威嚇してきて左耳を?まれた。耳上部表面2cm、耳裏4cmの裂傷を負った。	19	719	6	100 ~ 299
2017	2	14~15	競馬場自厩舎洗い場で2才馬を洗い場にいれる際、同馬が足を滑らせ転倒し、立ち上がる時に同馬の右前足で左足を踏まれた。その後も痛みを我慢しながらも治ると思い仕事を続けていたが馬のレントゲン時に一緒に検査してもらったところ骨折していたので後日に受診した。	36	719	6	1~ 9
2017	2	14~15	自厩舎洗い場で2才馬の手入れ中、同馬が暴れだし、鉄柱と馬体との間に挟まれ負傷した。病院へ通院したが、後日別の病院に転院し、骨折と診断されたのでその日から休業する。	40	719	7	1~ 9
2017	2	15~16	放牧地にいる繁殖馬を収牧する為に、放牧地の中に入って行ったところ、後から走ってきた繁殖馬が横を通り過ぎた時に、急に左足で顔面を蹴られた。	62	719	6	10 ~ 29
2017	2	10~11	寝藁を撒く機械が詰まったのでエンジンを停止し藁を取り除く作業をしていて、藁を引っ張った時に、引っ掛かっていた藁と羽の部分が一緒に動き右手人指し指が挟まり負傷した。	42	169	7	10 ~ 29

2017	2	20~21	弊社牛舎内ロータリーパーラーにおいて業務中、暴れる牛に装着するキックガードを取り付けるため、一度後ろのポールに立て掛けた際にそのキックガードを牛が後ろ蹴りにしたので被災者の顔面に当たり負傷した。	38	719	6	50 ~ 99
2017	2	9~10	繁殖豚舎で豚の交配中、雄豚が雌豚から離れた時、右側頭部に当たった。	30	719	6	—
2017	2	6~7	厩舎前の駐車場でトラックの荷台に乗りトラックから荷物を降ろしている時、足を滑らせバランスを崩して転倒しその際にトラックの荷台の角に背中を強打し負傷した。	66	221	2	—
2017	2	10~11	馬房内で馬にハミを付けようとしたところ馬が突然向きを変えて左背中部分を蹴られた。馬の左側からハミを付けようとしたところ、馬が時計回りに向きを変えた為危険を感じ、とっさによけたつもりだったが、一瞬の出来事だったのでよけきれず蹴られた。	65	719	6	10 ~ 29
2017	2	6~7	厩舎付近、馬運動場において取扱馬の乗運動中、該馬が物音に暴れ上にジャンプした後、着地した時に馬の首の硬い部分に右手があたり小指を負傷した。	37	719	3	10 ~ 29
2017	2	9~10	当牧場にて競走馬を騎乗して調教をしている際に、騎乗していた馬が物見をして木の影に馬が驚き急に止まった。その勢いで落馬し右半身から落ちたため大腿骨の骨折となった。	40	719	1	30 ~ 49
2017	2	9~10	Cコースにおいて取扱馬試教中、ゲートを出た後、該馬が突然跳ねた為バランスを崩し斜め前方へ落馬し、左肩部、頸部、左肘を負傷した。	39	719	1	10 ~ 29
2017	2	13~14	調教馬場で乗りかわって残り1周で馬が暴走し、手綱をはなさず鏡もぬげず頭から落ちて引きずられた。	16	719	1	1~ 9
2017	2	9~10	原卵受入口のプラットホームで上のコンテナ搬送ベルトを見上げていたところ、下に注意が行かず90cm程度の高さから地面に飛び降りた。当初はくじいた程度と考え掛かりつけの整骨院に行ったが診断	38	418	1	50 ~

2017	2	11~12	鶏舎内の雛の仕切り作業中、置いてあったプラスチック製品を巻いたもの（高さ約30cm）に乗って、取り付けようとしていたところ、足元がぐらついて、転倒し、右足を負傷した。	52	371	1	1~9
2017	2	8~9	新規農場の立ち上げ準備中、農場に向かい出かけた際、突風が吹き、パイプが落ちてきて首を直撃した。パイプ・・・自動給餌の餌ライン（餌の筒）、直径3.8cm。	33	391	4	1~9
2017	2	14~15	台風で壊れた倉庫の屋根を修理中、垂木が折れ3m位落ちて骨折した。ヘルメットをかぶっていたので頭は大丈夫だった。	59	415	1	10~29
2017	3	8~9	屋内走路で育成馬の調教中、突然立ち上がり落馬し、左側肋骨骨折及び右肩負傷を負った。	52	719	1	30~49
2017	3	9~10	被災者は当牧場にて、競走馬の育成・調教に従事している。牧場内で2歳牡馬を騎乗訓練している際に馬が突然立ち上がり、耐えきれず落馬し、着地の際に右足を強く打ち負傷した。	36	719	1	50~99
2017	3	8~9	当社牛舎にて配合飼料を配給車に出す機械を使用している際、誤って回転部分に指を入れてしまい負傷した。	33	121	7	10~29
2017	3	7~8	ウッドチップパドック前でウッドチップパドック内にある水桶に水を入れるため、水が入ったポリタンクを両手に持ちながら、少し小走りしていたところ、雪がうっすら積もった通路がアイスリンクのようになっていて転倒した。	52	719	2	50~99
2017	3	14~15	4tトラックにシートを掛ける作業中、雨が降っていたため足を掛けていたところが滑り、高さ約1.5mの高さから右足から地面に落下し負傷した。	59	221	1	1~9
2017	3	8~9	自社農場で牛の出荷作業のため、牛をトラック荷台に載せる作業中、牛がトラック荷台から逃げようと向かってきたため体で阻止し	36	719	6	10~

			たところ、牛が頭で激突し突き飛ばされ、トラック荷台反対側の壁の鉄部分に腹部を強打し負傷した。				29
2017	3	15~16	厩舎内で競走馬の飼養のため、ワラを切ったり木桶を持ったり腰を屈めるような同じ姿勢での仕事が続く中、腰に痛みがあり、ただの腰痛だと思い仕事を続けていたが、痛みが強くなった。	36	921	19	1~ 9
2017	3	6~7	厩舎内で工作中、急に指の爪と皮膚の間に痛みを感じ、しばらく様子を見ていたが化膿してきた。	55	719	90	1~ 9
2017	3	14~15	鶏ふん温水器で鶏ふんを燃焼し、燃焼後の焼成灰が機械本体の下部中央部分に蓄積し、通常スクリーコンベアで機械本体の外部にタイマーで搬送される。今回の事故は、機械本体の中央部分のスクリーの上で燃焼部分の掃除をされていてタイマーが作動し、スクリーに巻き込まれた。	47	224	7	50 ~ 99
2017	3	6~7	角馬場において、取扱馬の騎乗調教中、該馬がつまずき人馬ともに転倒し、頸部を負傷した。	63	719	1	10 ~ 29
2017	3	9~10	坂路コースにおいて取扱馬の騎乗調教中、該馬が興奮して暴れたため落馬し、左胸部（肋骨）を負傷した。	59	719	1	10 ~ 29
2017	3	3~4	馬房内において取扱馬の運動準備中（装鞍中）、該馬に突然蹴られ、顔面を負傷した。	47	719	6	10 ~ 29
2017	3	19~20	ガソリンスタンドにて灯油を購入し、会社に戻る途中、五差路の交差点を青信号で直進していたところ、左側の道路から赤信号を無視して進入してきた車両と衝突し負傷した。	35	231	17	1~ 9
2017	3	18~19	鶏舎室内で最終見回り時に、ホッパーのチェーンが緩い事に気づいたためテンションを張る作業中に、タイマーによりホッパーが動き出し、チェーンに指を挟まれた。自動運転の設定になっていて、タ	39	169	7	10 ~

			イマーで停止していたが、電源を切らないまま作業し、タイマーの時間がきて動き出した。					29
2017	3	8~9	ペールカッターでロールわらを切っていて、ロールわらの残りが少なくなり、中々切れなくなったのでカッターの上にのり足で押さえた。そのとき上でバランスを崩し、カッターに足を挟まれてしまった。	63	169	7		1~ 9
2017	3	11~12	当社養鶏場敷地内にて、樹木の伐採の作業中、高い所の枝を伐採するため乗っていた脚立（高さ4m位）から誤って足を踏み外し、地面に落下し負傷した。	67	371	1		10 ~ 29
2017	3	9~10	鶏舎内で鶏に給餌作業をしている時に、餌箱に異物が入っていることに気付き、取り除こうと右手を入れたところ、餌箱の下の機械に手を挟まれ小指を骨折した。	38	169	7		1~ 9
2017	3	16~17	当社鶏ファン乾燥ハウス内において、乾燥させる為の鶏ファンをスコップで掬い上げた際、右肩に激痛が生じた。	40	921	19		10 ~ 29
2017	3	14~15	プラットホームで作業中に段差を下りる際、足場をしていたブロックが転がり転倒し、地面に頭を強打した。	57	371	1		1~ 9
2017	3	6~7	採卵鶏農場集卵室で集卵作業中に、舎内より集卵室へ流れ動いているバーコンベア（卵がのって移動してくる）の乗り継ぎ個所で左手を挟まれ、指先を負傷した。	26	224	7		1~ 9
2017	3	9~10	馬場にて騎乗調教中、馬が暴れたため落馬し、左足から落ちて左ひざ左足首を痛めた。	22	911	1		50 ~ 99
2017	3	7~8	取扱馬の乗運動中、該馬が突然立ち上がり人馬ともに転倒し、右足踵部分を負傷した。	46	719	1		10 ~ 29
			馬運動場において取扱馬の乗運動中、該馬が突然暴れた際に落馬					10

2017	3	10~11	し、腰部及び左脇腹を強打し負傷した。	39	719	2	~ 29
2017	3	9~10	取扱馬の曳き運動中に該馬が突然暴れ、右脇腹を蹴られ、同部を負傷した。	39	719	6	10 ~ 29
2017	3	7~8	取扱馬の乗運動中、該馬が突然暴れて振り落とされ、左大腿部を負傷し、左第1指を該馬に踏まれ負傷した。	45	719	1	10 ~ 29
2017	3	18~19	バーコンベア（鶏舎からGPセンターにつながる鶏卵運搬装置）清掃点検中、カバーを外す際にバランスを崩し、リフトに装着されたパレットに飛び移ろうとしたところ、リフトのマスト部に右足が引っかかり負傷した。	34	419	2	—
2017	3	11~12	洗い場にて馬の肢を洗っていた際、馬に洗い場の壁へ押し付けられ、手を馬と壁の間に挟まれ負傷した。	23	719	7	—
2017	3	20~21	作業終了後、作業場所から敷地内にある寮に自転車に乗り移動中、前ブレーキを使用したため、バランスを失い転倒し、左足首を骨折した。現場は坂道で、帰宅時は下り坂になっている。	31	362	2	1~ 9
2017	3	13~14	豚の移動作業に従事中（豚を豚舎から出す直前）、豚が逃走しないように逃走用のビニールシート（1m×20m）を3人で持ち、シートが風でめくれないようシートの下を踏みつけて立っていたとき、前からの突風に煽られ、右端に立っていた被災者が転倒し、右手をついて負傷した。	61	418	2	30 ~ 49
2017	3	13~14	餌置場で牧草をカッターでカットしていた時、草がカッターにつまったので取ろうとしたところ、手に草がからんで引き込まれてしまった。	47	169	7	1~ 9
2017	3	13~14	育成舎のふん掃除を行っていた際、若雄豚の豚房を掃除していたところ、じゃれてきた若雄豚の牙で右ふくらはぎ内側に幅5~6cmの切	54	719	6	50 ~

			り傷を負った。				99
2017	3	8~9	鶏糞場で鶏糞を処理する際、発酵を促し堆肥化し肥料として活用するが、発酵鶏糞をボブキャット（重機）にてかき混ぜる作業に従事する際は、防毒マスクを装着しなければいけないところ、防毒マスク装着を怠り、煙には気をつけていたが風向きの変化に対応できず、発酵熱の煙が右目をかすめた。	29	519	12	10 ~ 29
2017	4	11~ 12	馬の調教中、急に馬があばれて馬の首に右手首をぶつけて負傷右橈骨遠位端骨折をした。	33	719	6	1~ 9
2017	4	7~8	騎乗調教を開始しようとして場内厩舎前で馬にまたがった際、馬が突然暴れ厩舎内に向かって走り出し、騎乗したままの状態でなんとか止めようとした。その時に厩舎の天井の梁に頭部をぶつけ落馬した。	40	719	1	10 ~ 29
2017	4	17~ 18	従業員が牧場にてヘルパー業務中、牛の搾乳作業をしており、搾乳が終わった牛と搾乳を始める牛の入れ替え中に、他の人が牛を驚かせてしまい、搾乳が終わった牛が急に動いてしまったので、牛に当たらないよう避難しようとしたが、牛と鉄の柵との間に右上腕部を挟まれて打撲した。	21	719	7	50 ~ 99
2017	4	15~ 16	放牧地で収牧中、仔馬がゲートに突っ込み、外れたゲートに巻き込まれて倒れ、頬・左手首・後頭部を負傷した。	39	719	6	30 ~ 49
2017	4	6~7	事業主牛舎にて子牛の熱を測っていたところ、他の牛が暴れて右手首を蹴られて受傷した。	57	719	6	10 ~ 29
2017	4	11~ 12	敷地内の鶏舎から2号鶏舎に鶏をラックに移しトラックで運ぶ移動作業中に、鶏が入ったラックをトラックの荷台からパワーゲートに乗せ卸ろし作業をしていた時、パワーゲート上でラックが動き出した為、その動きを押さえようとしたがラックの重さに耐えかねバランスを崩し、ラック共に転倒した。その際に右足がラックの下敷きになり、右足膝内側脛骨を負傷した。	57	611	6	30 ~ 49

2017	4	8~9	トレーラーに積まれた牧草（地面からの高さ約3.5m、一梱包重量30kg）を、フォークリフトのパレットに積み替える作業中、トレーラーの上で牧草に手釣をかけ移動させようとしたところ、牧草から手釣がはずれてバランスを失い、体勢を立て直そうとしたが、体の右側を下にした状態で転落し負傷した。	27	221	1	~	50 99
2017	4	16~ 17	馬洗場において取扱馬の手入作業中、該馬が突然立ち上がり、前脚が引き手に絡まった為、それを外そうとした際に該馬の下に巻き込まれ、後ろ脚で顔面・左胸部・頸部を踏まれ負傷した。	59	719	6	1~	9
2017	4	5~6	厩舎前において取扱馬の乗運動中、該馬が突然立ち上がり人馬とも転倒し、右腰部（右骨盤）と左足踵を負傷した。	29	719	1	~	10 29
2017	4	11~ 12	ロータリーバーラーで2回目の搾乳が終わり、牛舎に返す際、牛に近寄ったところ、右太ももあたりを牛に蹴られた。	40	719	6	~	100 299
2017	4	7~8	牛舎にて仔牛にミルクをあげる作業中、小屋1マスに仔牛2頭が入っていたため、移動させようとしたところ、牛に足の甲を踏まれた。	46	719	6	~	50 99
2017	4	13~ 14	養豚舎内調整室で、豚の配合飼料攪拌機清掃作業中、攪拌機内の羽根が完全に停止する前に、左手で飼料を寄せた時に羽根に指を挟まれ負傷した。	66	162	7	~	50 99
2017	4	13~ 14	鶏卵エレベータの清掃を本来電源を落として行うところ、落とさずに腕を入れたためチェーンに巻き込まれ左腕を負傷した。餌ホッパー内に詰まりが生じた為、原因を調べようと餌ホッパー側面部のネジを工具を使ってはずそうとしたところ、左エレベーター右側についているチェーンと上部シャフトに衣服の左腕部分がまきこまれて、ズボンも中段シャフトにからまった。	23	121	7	~	10 29
		15~	仔豚舎の飼料庫へ軽トラックを横づけし紙袋を移し替える際、約1m					10

2017	4	16	下へ足を滑らして落下し、軽トラック荷台部分に脇腹をぶつけた。	45	221	2	～ 29
2017	4	7～8	馬運動場において曳き運動中、該馬が突然走りだし、該馬に右腕に突進され、右肩部を捻った。	50	719	6	10 ～ 29
2017	4	9～ 10	厩舎付近の馬運動場付近において、調教終了後の帰厩の際に該馬が突然立ちあがり落馬し、腰部及び頸部を強打した。	39	719	1	10 ～ 29
2017	5	14～ 15	牧場内で草刈り作業中、地面の切株に気が付かずに躓き、転倒しそうになった際に草刈り機を掴むような不自然な姿勢になり、右肩付近を痛めた。	71	417	19	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	農場堆肥場にて鶏糞をおろした後、ダンプ後方で清掃し、開閉部に右足を掛けておりようとしたところ足を滑らせ転倒し、開閉部に右腕と右肋骨を強打した。	41	221	1	10 ～ 29
2017	5	9～ 10	場内の種付所にて、種付を行うための準備中に繁殖牡馬の後肢の後ろに、マットを置いた際に繁殖牡馬が左後肢で蹴り頭部を蹴られた。繁殖牡馬の足にはクッション性の靴を履かせていた事と、本人もヘルメットを被っていた為、外傷はなかったが頸椎を損傷した。	62	719	6	1～ 9
2017	5	13～ 14	調教場にて馬の調教中、馬上でバランスを崩し落馬した。地面に頭部を打ちつけ脳震盪の症状があらわれた。馬体に着用していた鞍がずれてしまったことが原因である。	27	719	1	300 ～ 499
2017	5	15～ 16	GPセンター内で休憩に入るため作業場内を移動中、玉子のパッキングの機械の下に敷いてある鉄板に躓き転倒し、顎と肋骨部分を強打した。	69	521	2	50 ～ 99
2017	5	14～ 15	農場鶏舎内にて餌といの中のを均す作業をしていた時、足を乗せていた4段式ケージの2段目餌とい（高さ約50cm）から地上に降りる際に左足首を負傷した。	51	418	1	1～ 9

2017	5	8～9	自厩舎内、厩舎前において乗運動中、該馬が厩舎作業中の人に物見し立ち上がったため落馬し、着地した際に右足を衝撃により負傷した。	43	719	1	～ 29	10
2017	5	3～4	自厩舎内、馬房内において飼葉付作業中、該馬がくるっと廻って突然蹴ってきたため、胸部（肋骨骨折）を負傷した。	55	719	6	～ 29	10
2017	5	5～6	自厩舎内、馬洗場（厩舎）において、運動終了後に洗場に繋ごうとした際、該馬が物音に驚き突然前に走り出したため踏まれ、右足の小指を負傷した。	39	719	7	～ 29	10
2017	5	7～8	港内に停泊中の船上において、漁場から船を移動させるために接岸用のロープを外そうと、船尾から船首に走って移動した時、滑って転倒した。その際、腹部横を船の仕切り材で強打した。	24	239	2	～ 49	30
2017	5	15～ 16	牛舎において牛の手術を行う際、牛を倒す為ロープを牛の近くで引っ張った時、牛が体勢を崩し、左足首の内側を踏まれ負傷する。	22	719	7	～ 99	50
2017	5	15～ 16	草刈作業を行っている時に、落ちていた番線の破片が刃に当たって飛び上がり、足に当たり負傷した。	39	169	4	～ 29	10
2017	5	14～ 15	Cロットの鶏舎内において、傾斜の修理中に右腕をシャフトに巻き込まれ重体になった。ナイアガラと呼ばれる部分のベアリングを、ブレーカーを落として交換に入った際、ベアリングの取り付けが終わり、正常に動くか確認のため電源を入れてモーターを動かす際に、修理したベアリングの部分とは違う足元にあるシャフトに右手を巻き込まれる。回転は遅いが、力が強く右腕の裾から絡まり、右腕がシャフトに巻き込まれる形で肋骨までシャフトに引っ張られて骨折した。	56	121	7	1～ 9	
			当社堆肥舎で、ボブキャットに乗りバケットを操作しながら堆肥を混ぜる作業をしている時に、突然ボブキャットが前に傾いたため、					

2017	5	11～ 12	ボブキャットから降りようと右足を出したところ、傾いていたボブキャットが元の状態に戻ったと思ったが、バケットが下降してきて、降りようとしていた右足の膝下を、ボブキャット本体とバケットとの間に挟んでしまった。	19	141	7	1～ 9
2017	5	16～ 17	農場にてオス豚を移動させていたところ、豚舎の通路で豚が激しく転倒し、右足の太ももにぶつかってきて、豚の歯（キバ）で太ももを切った。	65	719	6	10 ～ 29
2017	6	4～5	馬房内において、馬の手入れのため馬房に入って、左手に馬と繋がっている手綱を持ち、右手でブラシを持って馬の左側の首、背中、お尻へとブラシをかけている時、馬が何かに驚き、急にお尻を寄せて来て、逃げる間もなく、左肩が馬の左のお尻に、右肩が馬房の壁に挟まれた状態となり、肩と胸が圧迫されたため、鎖骨脱臼と右肺に外傷性の気胸を負った労災事故である。	61	719	7	1～ 9
2017	6	6～7	親馬の後肢手入れ中、馬が少し嫌がる素振りを見せ、後肢を振り上げた。その際、馬の後肢蹄が太股内側に接触した。	21	719	6	50 ～ 99
2017	6	19～ 20	場内装鞍所において、11レースに出走する馬に馬具を装着していたところ、思いがけず左前足で左足親指付近を踏まれ負傷した。	31	719	6	1～ 9
2017	6	16～ 17	豚舎の天井裏を通り、豚房内の給餌器に飼料を搬送するドロップパイプの緩みに気づき、修理のため豚房柵に足をかけ、上り口より天井裏に上り、緩みを締め直した。修理が終わり下に降りようと豚房柵に足を掛けた際、足を滑らせ豚房柵の上部に股間から尾てい骨にかけ強打した。	44	418	1	10 ～ 29
2017	6	12～ 13	被災者である当社従業員は、当社事業場において、牛のエサづくりのため、わらをカッター機で切断作業していた。機械から通常と違う音がしたため、電源を切った後、モーターを確かめようとしたが、ベルトが動いていたため右手でベルトを止めようとしたが、プーリーまで右手を運ばれ、ベルトとプーリーに右手薬指が挟まり	20	121	7	1～ 9

			負傷した。				
2017	6	7~8	馬場において取扱用の騎乗調教中、該馬が突然逃避しながら斜行したため落馬し、左肘を負傷した。	32	719	1	10 ~ 29
2017	6	11~ 12	本社敷地内の堆肥捨場にて、堆肥を一輪車にてトラックに積み込む際、足を踏み外して転倒し、腰を打ちつけた。	46	221	1	10 ~ 29
2017	6	15~ 16	給餌機の修理中（鶏舎内）、（パイプ内で引っかかった機器を修理するために）電源を切り、手を入れて作業していたところ、引っかかりの取れた機器が一気にパイプ内に戻り、指が巻き込まれた。 （右小指がパイプと機器に挟まれた。）	55	169	7	10 ~ 29
2017	6	8~9	肥育豚舎D号棟において豚の出荷作業中、豚房柵が倒れてきて、左足甲を強打し負傷した。（豚房柵を固定している鉄製の支柱一部が腐食していた為と思われる。）	39	418	5	10 ~ 29
2017	6	6~7	馬場Eコースにおいて、ゲート練習中、該馬が嫌がって突然立ち上がり人馬転倒し、右膝を強打し負傷した。	34	719	2	10 ~ 29
2017	6	10~ 11	堆肥の成分によって腐食が進むため、年に1~2回行う点検の際、桶の腐朽箇所を見つけ、新しい桶で補強しようとして腐朽部分を強く引っばった時、そのショックが左肩に来て激痛がはしったとのことである。違和感がしばらくして消えたため、そのまま仕事を続けたが、後日急にハンドルが握れなくなり手術となった。	75	418	19	1~ 9
2017	6	8~9	リパックエリアで、機械がプラスチックに入っている卵を吸盤で吸い上げて、ダンボール梱包用のトレイに移す際、プラスチックトレイに正確に入っていない状態で抜けている状態で機械が停止したため、トレイの卵を除くために手を入れた際、機械が非常停止せず、頭部をロボットヘッドに挟まれた。その際、左頭部、右の顔から首にか	38	169	6	30 ~ 49

			けて打撲し、歯（左上糸切り歯）も欠けた。				
2017	6	14~15	養鶏場において、パレット上の製品の入ったコンテナ（卵、1パレット40個×16パレット）を洗浄機横のレールに乗せかえる際にバランスを崩し、先にレールに乗せていたコンテナとの間に手を挟み、痛くて抜いた左手を後方の5段積のコンテナで強打し、左手甲と指を負傷した。洗浄機作業に慣れておらず、洗浄機上のパレットに隙間を作らないよう準備に追われていたためと思われる。	55	379	3	10 ~ 29
2017	6	11~12	孵卵場工場内で、卵を積んだラック（約120kg前後）を倉庫から引っ張り出して移動させる時、ラックの滑車（鉄）が左足に乗りかかった。その時に本人が慌ててしまい、ラックを再び自分の方向へ戻そうとしたため、再び足を直撃して2回轢かれてしまった。この作業時は安全靴を履かなければならないのだが、履いておらず、普通の長靴で作業を行っていた。	39	362	7	100 ~ 299
2017	6	15~16	農場分娩舎入口付近で、被災者が離乳子豚計量機等を、1枚の板に載せて運搬中、子豚の調子を確認しようとして脇見をしてしまい、床に置いていた餌付用容器に足を引っ掛けてしまい転倒した。	58	417	2	1~ 9
2017	6	8~9	鶏舎入口で雛80羽を入れた専用台車をトラックから降す時、専用台車がバランスを崩し、また雨天のため車輪が滑り、被災者の足腰に当たってしまった。至急救急車で病院へ搬送された。	45	221	4	10 ~ 29
2017	7	16~17	馬房の中で、馬を捕まえようとした時に、馬が嫌がり暴れて右太もも当たりを蹴られて負傷した。	46	719	6	10 ~ 29
2017	7	18~19	牛を別の牛舎へ移すため、間違わないように牛の後足の足首に目印のためのテープを巻く作業をしていた。先に右足首にテープを巻きおえて、次に左足首に巻こうとしてかがんだ時に、牛があばれて左肩を踏まれた。	40	719	6	10 ~ 29
			朝、ヘルパー作業のひとつで放牧地にトラクターで水タンクを運んだ帰り、放牧地の電牧の線をしめるため、トラクターを降りて線を				1~

2017	7	7~8	しめる作業をしていた時、トラクターがゆっくりとさがって来てひかれた。	30	169	7	9
2017	7	11~12	交配豚舎内において、豚の交配作業中、雌に雄が乗ったので補助に入ろうとしたところ、雄が足を滑らせ雌から滑り降りたために、豚房柵と雄の間に左手が挟まれ骨折した。	25	719	7	1~9
2017	7	5~6	馬運動場において曳き運動中（左側）、該馬が突然走り出し引きずられ、左肩部を負傷した。	43	719	19	10~29
2017	7	11~12	被災者は、当社農場内の肥育ハウスの中で肥育豚の治療をしていた時、ハウス内の段差でつまずき左足甲を負傷した。（段差の高さは30cm位）	35	417	2	10~29
2017	7	8~9	センターでトレー排出のチェーン部の汚れを掃除していたら、次のトレーが来てチェーンが動き、指を持っていかれ右手人差し指の爪が剥がれた。	19	224	8	100~299
2017	7	6~7	馬を洗うため、洗い場に馬を繋ごうとした際、馬が飛び出しそのまま引きずられ右肩にヒビが入った。	50	719	2	1~9
2017	7	15~16	厩舎前において馬運車から降ろす際、該馬が物見し飛び降りその際左足第4・5指に着地され、同部を負傷した。負傷当日より痛さがあり我慢していたが翌日腫れが広がっているため、救護室にて診てもらい処置してもらい、骨折していると言われ湿布を貼って我慢した。	30	719	6	10~29
2017	7	14~15	計量場から牛舎へ、牛をもくしで引っ張りながら移動していたところ、牛が興奮したためバランスを崩し転倒した。その際に、左体親指と小指を負傷した。	41	719	2	10~29
2017	7	10~11	豚舎で豚ふんを運搬車で運ぶ作業中、運搬車の操作を誤り豚舎ブロック壁と運搬車に体を挟まれ骨折。	53	229	7	1~9
			作業場にて、貯水タンクの位置調整中に、高さ約8mのタンク上から				1~

2017	7	9~10	足を滑らし、地面に落下した。	41	418	1	9
2017	7	1~2	牛〔350kg〕をパドックからパドックへ移動するため、車に乗せようと後から追っていたとき、牛に蹴られ、右足脛を打撲した。休業見込み3週間	38	719	6	10 ~ 29
2017	7	15~16	農場内GP製品庫で製品の入った台車（約150kg）を押していた際、床面が劣化してくぼみがあるところに台車の前コマが挟まり、台車が倒れた。その際、後コマ下部のフレームで右足首を打撲した。	26	416	3	50 ~ 99
2017	7	13~14	改修工事後の地下フロア内にて、清掃作業をするにあたり、気温が高いので風通りを良くするため、左右のドアをあけに向かった際、点在する除糞機・設備（高さ30cm程の鉄骨のガード）をこえようとした時、作業着・長靴の着用・室内照明等に瑕疵は無かったが、足下に点在するガードに加え、天井も低く注意が必要なことと、休息前の準備作業のためか注意力が不足しており、ガードの高さの目算を誤り、足をつまずかせ転倒。左顔面・手首等を除糞設備の鉄骨等に強打し、打撲・骨折等のケガをした。	60	418	2	10 ~ 29
2017	7	13~14	当事業所養鶏農場敷地内で草刈り作業中、刈り草集めの手伝いをしていた被災者に、草刈機を使用して作業をしていた別の作業員が、刈り取られた草を集めるよう声をかけたところ、被災者が近くに来て「来ました」と声をかけた。作業員が草刈機を持ったまま振り向いたところ、回転していた草刈機の刃が被災者の右大腿部に当たり負傷した。	18	169	8	30 ~ 49
2017	7	16~17	馬の治療中、馬が治療を嫌がり突然後ずさりをした。その際、手に持っていた引手綱が右手中指に絡み負傷した。	36	719	7	30 ~ 49
2017	7	11~12	牧場の馬場において、被災者が馬の騎乗調教中、馬が何かに驚いて急に横跳びした為バランスを崩して落馬し、その際に地面に頭部を強打して負傷した。	60	719	1	1~ 9

2017	7	10～ 11	牛舎内のパーラーで牛の検査作業中に、パーラーから勢いよく出てきた牛と柵の間に右腕を挟まれ骨折した。	21	719	6	10 ～ 29
2017	7	8～9	牛舎内において発情牛の捕獲作業中、他の牛が騒ぎ出した影響で捕獲しようとしていた牛が走り出し、牛に装着していたベルトから手が外れず並走する形となった。その際横になっていた牛を飛び越えたが、その先にいた牛とぶつかった際、首をひねったもの。	46	719	3	1～ 9
2017	7	8～9	馬に騎乗中、前の馬が人馬転し、倒れてきた馬が左膝付近にぶつかった。	37	719	6	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	牧場内で和牛の人工授精をする為に、運動場から雌牛を枠内へ追い込む作業中に、首にロープをかけていた。牛の後方からそのロープを両手で掴み保定しようとした際、牛が急に向きを変えて走ったため、ロープに指をとられた。軍手をしていたが、その際に軍手が外され、軍手の中に切断された小指が残っていた。	63	719	19	1～ 9
2017	7	15～ 16	体重計測の為親子で馬を引いていたところ強風に仔馬が驚き走り出した為、親が急に暴れ頭部と胸部を後肢で蹴られる。	48	719	6	30 ～ 49
2017	7	14～ 15	当社育成鶏舎2階において、鶏舎内のホコリ落とし作業中、中間ステップの最後尾付近で壁部分の鉄骨と中間ステップの間の一部に隙間（約20cm）があるのに気付かずに右足を大腿部まで落とし大腿部を強打し負傷した。	56	416	3	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	当社農場内において、鶏卵の集卵作業をしている際の移動時に床の段差に躓いて、左足を挫き負傷した。	60	417	19	10 ～ 29
2017	7	8～9	工場内の作業スペースで、プラスチックの20Lドラムを固定し切断加工中、ディスクグラインダーの刃が誤って左手に触れ負傷した。	32	153	8	1～ 9

2017	7	11~ 12	仕事のやり方について他の従業員と食い違いが生じ、口論となって揉み合いになり、牛の餌箱に倒れ込んだとき、餌箱の縁で左脇腹を強打し、肋骨を負傷した。なお、従業員同士の間には私恨はない。	34	911	90	1~ 9
2017	7	10~ 11	ストール舎のオス豚房を掃除中、餌を食べていたオス豚が人の気配に気づき近寄ってきたため、逃げようとした時に右手が扇風機に当たり、怪我をした。当日はそのまま作業をしたが、翌日より痛みと腫れがひどくなってきたので病院へ行った。	20	391	3	10 ~ 29
2017	7	9~ 10	牧場内において、馬の写真撮影作業中、馬の曳き綱を持って馬の正面に立ち、馬の姿勢を整えていたところ、馬が急に暴れだしたため転倒し、右肩付近を地面に強打し骨折した。	48	719	2	1~ 9
2017	7	3~4	厩舎前において、騎乗の際に該馬が突然動き出したため落馬し、その際に右足を該馬に踏まれ、同部を負傷した。	49	719	1	10 ~ 29
2017	7	7~8	出張厩舎馬房内において手入れ作業中、該馬が突然ぶつかった際に、該馬と壁との間に挟まれ、左脇腹および腰部を負傷した。	46	719	7	10 ~ 29
2017	7	15~ 16	会社の敷地内において、刈払機で作業中、錆びた針金が飛んで来て、長靴を貫通して足に刺さった。	59	169	4	1~ 9
2017	7	16~ 17	当社新農場準備のため、農場周りに生えている植木の枝落としや雑草の草刈りをした。作業終了時、首筋にダニのようなものに噛まれた跡が3か所見つかった。後日、発熱・倦怠感・吐き気・喉の痛みの症状が現れた。	71	719	90	1~ 9
2017	7	7~8	鶏舎内で鶏に給餌中、給餌機BOX内のゴミが詰まっていたため、電源を切り忘れたまま取り除こうとした。その際、稼働中の給餌機BOX内に指を突っ込んでしまい、給餌機チェーンに指を巻き込まれ負傷した。	44	224	7	10 ~ 29
			牧草を育てるための畑を購入し、畑に置かれていた材木を撤去する				

2017	7	15~ 16	作業の補助をしていた。運び出しやすいように、等間隔に置いた材木の間を移動中、よそ見をして足元が疎かになり、畑の横の側溝（幅約1.5m、深さ1.5m）に転落した。落ちた際に側溝の床に手を着いてしまい、左手首を骨折する負傷をした。	50	418	1	1~ 9
2017	7	11~ 12	農場の集卵室で、ランドリーに残っている卵を取り出そうとした際、機械のギヤで右手の中指と薬指を負傷した。	69	169	7	30 ~ 49
2017	7	14~ 15	育成舎で、空になった豚房の水洗いをしていた。餌箱の中を洗うため、豚房の壁に立て掛けようとしたが、壁に届かず、左足甲に倒れてきて負傷した。	61	379	4	100 ~ 299
2017	9	8~9	哺育舎から育成舎への仔牛を移動させる為に仔牛7頭を6人で追っていたところ、牛に蹴られて転び、転んだところを牛に踏まれこの災害となった。	38	719	6	1~ 9
2017	9	17~ 18	酪農ヘルパー出役中、育成牛を移動している時、1人が前から引っ張っていたが、動かなかったので、自分は後ろ側から尿溝にあるパンクリーナーのチェーンに左足をかけ、牛を押していたら、足首をひねったような気がしたので、押すのをやめて足をついたら痛みがあつて、歩くのも痛かったので、すぐ病院を受診し、肉離れと診断され帰宅した。翌日になっても痛みが治まらなかったため、整形外科病院を受診した。アキレス腱断裂と診断され、後日手術した。	56	719	19	1~ 9
2017	9	14~ 15	放牧中、曳いていた馬が急に暴れ、押さえようとしたが右肩を脱臼した。	19	719	19	100 ~ 299
2017	9	9~ 10	牧場にて右膝をついて踵を浮かせた状態で牛を削蹄中、牛が倒れてきたので逃げようと腰を浮かせた際に、右ふくらはぎから踵に牛が倒れ下敷きになった。	47	719	6	—
2017	9	10~	牛を削蹄枠に入れる作業をしていた時、牛の前足が動かなく本人が足で強く蹴っていたら、急に牛の前足が動いたため、足をへんにひ	28	921	19	1~

		11	ねって右ひざの腱を切った。				9
2017	9	8～9	出向先の牧場にて放牧地へ牛を追いに行くため、オートバイで牛を後ろから追っていた際に、タイヤが滑り転倒した。その時に転倒を防ごうと足を踏ん張ったが、オートバイが倒れてきて、左足のすねから足首の辺りを強打した。負傷当日は痛みも腫れもすぐに治まったので、病院へは行かず通常通り仕事をしていた。その後、しびれや痛みを感じるようになり、状態が悪化し、受診した結果、左足首の筋肉剥離と診断され、現在、固定用装具を装着している。	41	231	6	1～ 9
2017	9	22～ 23	弊社牛舎内のロータリーパーラーに於いて搾乳作業中、50cm程度の高さの台より降りた際に着地に失敗し足を負傷した。	34	921	19	50 ～ 99
2017	9	6～7	牛舎搾乳場で搾乳中、乳牛の足が左手ひじの部分に当たりすり傷が出来た。その後、徐々に化膿が始まり左うでから手の甲にかけて腫れ、発熱した。後日受診し、抗生物質の投与が必要ということで、入院に到った。	27	911	90	1～ 9
2017	9	14～ 15	馴致中、ウォーキングマシン内で騎乗していた所、馬が突然立ち上がり、後方に転倒。ウォーキングマシン内の後壁に投げ出される形で落馬。その際に、右肩から背中にかけて激痛を感じた。	31	719	1	300 ～ 499
2017	9	16～ 17	従来からある自社敷地内の物置小屋の増設を2名で本来作業の他に 行っていた。当日降雨の為一旦その作業を中断していた。雨が止んだ為、本人が1名のみでその作業を再開した。その際、軒高約2mの屋根に長さ約3mのアルミはしごを立てかけて登り、ブルーシートを張ろうとしたところ、バランスを崩して地面に落下し頭部を強打した。	63	371	1	1～ 9
2017	9	9～ 10	豚の交配作業中、雌が動いてしまい、雄が雌を追いかけて動いたとき、雄が足を滑らせ、その際に被災者が足を踏まれ、抜こうとして右膝に負荷がかかり負傷した。	27	719	90	1～ 9

2017	9	13～ 14	出走馬に騎乗、発走後コーナー付近において同馬が馬体故障を起こして転倒し、落馬した際に同馬に一瞬乗られて負傷した。	21	719	6	1～ 9
2017	9	6～7	委託先農家の牧場内で、牛を委託先から会社に運搬するため、トラックに牛を積み込もうとしていた際、牛が逃げそうになり、牛に繫いだロープが引っ張られ、コンパネに指をぶつけ負傷した。	52	719	3	10 ～ 29
2017	9	15～ 16	自厩舎内、馬房内において糞拾い作業中、該馬が物音に暴れ尻を向けて蹴ってきたため、右足（右股関節部）を負傷した。	59	719	6	10 ～ 29
2017	9	14～ 15	二次処理貯留槽のポンプのコンベラー交換時に、ポンプを階段から下ろす時に両手でポンプを持っていたが、左手の方が滑り落ち右手を巻き込む形で骨折した。	41	169	19	50 ～ 99
2017	9	10～ 11	牛舎内にて、作業終了後、重機より降車を試みた際、誤って足を滑らせて転倒、左ひざを強打、挫傷した。	33	711	19	10 ～ 29
2017	9	13～ 14	玄関掃除をしている際、ゲタ箱内の拭き掃除中、上段が高くて手が届かない為、ふみ台にあがり作業をしてましたが、ふみ台からおりた際、足をふみはずし右足首をひねった。	57	921	19	30 ～ 49
2017	9	15～ 16	馬場にて騎乗練習中に馬が暴走し、ラチに衝突し前方へ落馬。背中から地面に着地した為、背中・腰・左手（薬指）を強打し痛めた。	24	911	1	50 ～ 99
2017	9	5～6	馬運動場において、乗運動に向かうため騎乗した際、該馬が嫌がり突然走りだして落馬し、左足を強打負傷した。	48	719	1	10 ～ 29
2017	9	5～6	乗運動中、該馬が突然暴れて落馬し、腰部を強打負傷した。	44	719	1	10 ～ 29
			調教前の乗り運動中に雨が降ってきたので、鞍に合羽を付けるため				1～

2017	9	5~6	に洗い場に馬を入れ、降りた時にホースが足に絡み転倒し、その音に馬が驚いて暴れ右足のふくらはぎを踏まれ負傷した。	55	719	6	9
2017	9	11~12	牧場の牛舎の中で牧草をカッターで裁断中に、牧草が詰まったので、カッターの回転を止めないで鎌で牧草を取り出そうとして鎌をカッターに巻き込まれて指をケガをする。	28	169	7	10~29
2017	9	15~16	製造工場内で油槽の清掃中、誤って約1.3kgの部品を80cmの高さから患部に落とした、その時に足指が無防備なサンダルを履いていた。	62	521	4	30~49
2017	10	17~18	農場内で藁切り作業終了後に後片付けをしていたところ、藁切切断機内部に牧草が残っていたため、右手で取り除く時に、機械内部の切断刃に接触して右手人差し指の先に切傷を負った。	59	169	8	1~9
2017	10	14~15	工場内の卵を選別するラインのすぐ近くに卵の洗浄機がある。その入口、出口付近に通常は触れることはないが、近くに卵の殻があり、本人が気になって取り除こうとした。その際、歯車に指を巻き込まれ、引っ張ってしまい、右手人差し指の第一関節より上を切断してしまう。	69	169	7	10~29
2017	10	6~7	馬が急に暴れ、左膝を蹴られた。その際、脱臼してしまった。	41	719	6	100~299
2017	10	16~17	帰宅準備で工場内移動中、立てかけてあった削蹄杵部品を移動しようとしたところ、重量があり手が滑り、その部品が足の上に落ち、負傷する。	24	521	4	1~9
2017	10	8~9	就業場所牧場の牛舎で搾乳を終えた牛の移動をしていた。牛舎内で牛の誘導をしていたところ、急に牛が団体で走り出したため、避けきれずに牛舎のH型鋼と牛との間に体が挟まれてしまい負傷した。	48	719	6	1~9
2017	10	9~10	一歳馬の調教中、坂道の入口付近で被災者を乗せた馬を中央にして、3頭併せて調教していたところ、右側にいた馬が暴れて、その蹴	41	719	6	10~

			り上げた脚が被災者の右膝に当たった。				29
2017	10	6~7	敷地内にて、急に馬が立ち上がり落馬をして、腰から落ちたところに馬があおむけに乗っかかり、腰の骨を折った。	38	719	1	1~ 9
2017	10	16~ 17	馬房内で当才馬の蹄の裏掘り作業をしていたところ、左後蹄の裏掘りを終えた時に後肢で左頬を蹴られ頬骨骨折。	58	719	6	30 ~ 49
2017	10	16~ 17	勤務終了後、駐車場へ向かう途中の下り坂で、近道しようと砂利道でなく草むらの上を歩き足を滑らせ転倒。その際に右手甲部分を強く打した。（履物はクロックス（サンダル）を履いていた。）	49	417	2	1~ 9
2017	10	15~ 16	養鶏場鶏舎内で、養鶏機器の掃除作業を行っていた。2段目（1.2m）から、1段目に降りる時、足を掛けた餌桶（30cm程度の高さ）から足を滑らせ、落下した。	43	612	1	10 ~ 29
2017	10	10~ 11	当牧場にて競走馬を調教のため、騎乗にて反路を走行中に馬がバランスを崩し、落馬してしまった際に右足を打ち痛めてしまった。	38	719	1	
2017	10	9~ 10	角馬場において、騎乗調教中、該馬が突然暴れ跳び背負い投げのように前方に投げ飛ばされ落馬、頸部を馬場にぶつけ負傷した。	36	719	1	10 ~ 29
2017	10	6~7	騎乗調教中、該馬が突然心臓麻痺を起こし、急に止まり倒れた際、バランスを崩して落馬、左肩と左肋骨を負傷した。	37	719	1	10 ~ 29
2017	10	3~4	動場において曳き運動中（左側）、該馬が突然暴れ踏まれ、右足（全体特に小指付け根を強く踏んだ）を負傷した。	59	719	6	10 ~ 29
2017	10	8~9	牛の出荷作業中、小屋の中にいた4頭のうちの1頭が動いているうちに当たってきて、柵と牛に挟まってしまい負傷した。	68	719	6	100 ~ 299
		16~	豚舎糞尿ピット0パイプ掃除中に豚舎屋外ピット（幅1m、高さ				1~

2017	10	17	1.2m、長さ60m、コンクリート製)を飛び越えようとした時、誤って転落し、ピット線に左骨盤部を強打し骨折したもの。	35	418	1	9
2017	10	9~10	鶏の出荷作業をしていた。鶏舎の中に鶏の移動用ラックを搬入していたところ、長靴を履いた足が側溝にはまったが重量のあるラックは先に進んでしまい、足が捻った状態となり関節を痛めるとともに、小指の骨を折ってしまう。	23	418	90	~ 299
2017	10	11~12	集卵作業中に少し段差のある所でふりむいた時に捻り、災害が発生した。	48	921	19	~ 29
2017	10	7~8	GPセンター（卵のパッキングセンター）内で、始業前準備を高さ30cm程の検品作業台の上で行っていた。そこから床に降りる際に、5cm程の溝へ右足を取られて転倒し、右足首をくじき、くるぶしを骨折した。	52	417	2	~ 299
2017	10	9~10	台風対策のため、牛舎内の壁の上で作業をしていた時にバランスを崩し、3m下の地面へ落下し、左足首を痛め、左足踵を骨折した。	44	415	1	1~ 9
2017	10	7~8	騎乗調教中、該馬が突然暴れ旋回した際にバランスを崩し腰部を捻り、同部を負傷した。	42	719	19	~ 29
2017	10	6~7	厩舎を出てコースへ向かう馬道で競走馬に騎乗しているときに馬が突然立ち上がり、騎乗したまま馬と一緒に後方へ転倒し馬の下敷になった。	34	911	1	~ 99
2017	10	8~9	馬運動場において騎乗調整中、該馬が突然暴れて落馬し、右手の第5指を強打負傷した。	58	719	1	~ 29
2017	10	6~7	騎乗調教中、該馬が突然走りだして埒にぶつかった際に落馬し、左足を強打負傷した。	42	719	1	~ 29

2017	10	10～ 11	鶏舎内で鶏糞出し作業時に鶏糞を掻き出すスクーパーのワイヤーに糞の固まりが付着していたので機械を停止させずに、回転しているワイヤーに手で除去を行っていた所、夢中になり回転板に指を巻き込まれ、左手の人差し指の先を切断された。	37	169	7	—
2017	10	7～8	鶏舎内バックヤードを歩行中、外されていた点検用溝蓋に気付かず点検用の溝上に落下した。	54	417	1	1～ 9
2017	10	15～ 16	牧場内にある牛舎の屋根の古いところを修理するため、屋根に上がって作業していた。屋根の所々に明かり取りのための透明な部分があり、薄いので気をつけていたが、汚れていて黒っぽく見えたため、誤って踏み抜いてしまい、高さ約5mのところからコンクリートの通路に落下した。左手首を複雑骨折した。	64	415	1	30 ～ 49
2017	10	10～ 11	鶏舎サービスルームで、給餌機の動作確認時に、駆動部が正常に作業していなかったため、モーターが回転したまま、ベルトが摩耗し緩んでいたギアを手で弾みをつけた際に、ベルトとプーリーに指が挟まり被災した。	36	169	7	1～ 9
2017	10	11～ 12	カーゴを洗っている際、右手でホースを持ち、左手で支えている時にバランスを崩してしまい、足にカーゴが倒れて足の指を骨折した。	59	611	4	10 ～ 29
2017	10	16～ 17	業務中の被災である。台風明けの養鶏場の作業が一段落したあと当工場の外にある鶏舎の糞をショベルカー（タイヤ付小型特殊自動車）のポケットを利用してその鶏舎の奥まで固めておく運転作業を繰り返していた時の被災である。バックをしながら踏み込んだフットペダルに足が絡まったか、そのまま当該敷地外の農道脇の溝に落ち込んでしまう被災となった。	56	142	1	10 ～ 29
2017	10	14～ 15	鶏舎で、被災労働者が、鶏が足を痛めないように巣箱の中の金網に人工芝を敷いていた。敷いた人工芝がずれないようにインパクトドライバでビス止めし、次の巣箱に移動していたときに、手が滑って持っていたインパクトドライバを落としてしまった。落ちたはずみ	59	364	4	100 ～

			で電源が入り、ドライバのドリルが右足の甲の内側に長靴の上から刺さり負傷した。				299
2017	10	8～9	豚舎内通路で、母豚移動中に母豚がまとまっていて、動かなくなり、押して移動させようとしたところ、足を踏まれ負傷した。	28	719	7	1～ 9
2017	11	15～ 16	牧場にて、繁殖馬を馬房に入れるため、馬を引いていたところ、急に立ち上がり、馬と一緒に右腕が上がり、激痛がはしった。	20	719	19	10 ～ 29
2017	11	15～ 16	放牧地で繁殖牝馬のひき運動中、馬が暴れぶつかって来て、本人が倒れ右肩を負傷した。	65	719	6	30 ～ 49
2017	11	7～8	競馬場内ロング場で、1才馬（メス、鹿毛）を馴致中、同馬が突然暴れたため右肩から落馬し、右肩を地面に打ちつけ負傷した。	34	719	1	1～ 9
2017	11	14～ 15	乾乳牛舎へ牛を移動させるため、家畜車を誘導していたところ、牛舎入口が少し傾斜があり雪で滑り易い状態だったので少し勢いをつけて車が上って来たので避けきれなく、車のあおり部分と牛舎扉部分に足を挟まれた。	39	221	18	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	会社敷地内の倉庫の屋根の修理のため、壁に立て掛けた梯子を上っていたところ、梯子が凍った地面に接地していたために、梯子が滑り、そのはずみで、はしごの2.5m位の高さから、地面に足から落ちた。	49	719	1	1～ 9
2017	11	8～9	自宅牛舎内で自走式給餌機で給餌中、給餌機の前輪右タイヤが、バンクリーナーの溝に脱輪したため、引き上げ中に給餌機が横転し、下敷きとなり、左足を負傷した。（後日、右足2ヶ所骨折も判明）	34	229	7	1～ 9
2017	11	14～ 15	集牧して厩舎に入れる為に手綱を持って歩いていたところ、馬が暴れ自分の後ろ側に回って後ろ脚を蹴り上げた為、背中に後脚が当たり背中を負傷した。	31	719	6	10 ～ 29
			豚舎消毒の為、豚舎事務所内で消毒薬（グルタプラス）を別容器に				

2017	11	15～ 16	移そうとしたところ、消毒薬が少なくなっていた為、覗き込んだところ薬液がはね目に入り炎症を起こした。	59	519	12	1～ 9
2017	11	6～7	朝の調教の為、装鞍所において馬（牡、2歳馬）の調教を始めようと馬場に入ろうとしたところ、同馬が暴れて馬場管理棟の柱にぶつかった際に左足を負傷した。	35	719	6	1～ 9
2017	11	11～ 12	自厩舎付近、馬運動場において取扱馬の乗運動中、該馬が突然躓き前方へ投げ出され落馬し、背部から馬場に落ちた際に負傷した。	49	719	1	10 ～ 29
2017	11	8～9	角馬場において騎乗調教中、該馬が突然斜行し尻っぱねをした際バランスを崩して落馬し、馬場に飛ばされた際背部と左手甲部分の骨を打ち、負傷（骨折）した。	57	719	1	10 ～ 29
2017	11	5～6	馬運動場において取扱馬の調教に行く途中、該馬が突然引っくり返り落馬し、その際背部、左臀部打撲、左肋骨・右手親指を馬場に打ち負傷した。	33	719	1	10 ～ 29
2017	11	9～ 10	工場仕上げ場で、被災者が一人で鉄骨加工品仕上げ作業を行っている最中に発生した。二段に重なっていた鉄骨加工品の上段の加工品を手前におろす際に、手で持ち上げたが重さに耐えきれず急いでおろした為、下段の加工品とおろした加工品の間に指を挟んでしまった。鉄骨加工品、H形鋼200×175×7/11t×990L（43kg）	35	719	6	1～ 9
2017	11	11～ 12	ホテル調理場内にて、デシャップ台（完成した料理を配膳前に一時的に置く台）付近の段差に躓き転倒した。その際に最初にデシャップ台にぶつかり右顔面を打ちつけてしまった。前日に調理場内の床面清掃を行い台が通常時に比べ位置が違っており、そのために、感覚が変わって、躓いてしまったようである。翌日になっても痛みが引かなかったために受診した。その後、1週間後に受診し、翌月は通常勤務を続けたが、右手に痺れが出るなど、違和感を感じ、翌々月に受診し痛みが続いていることを伝えた。	34	719	6	1～ 9

2017	11	14～ 15	堆肥センターにてペレット鶏糞の製造作業中、機械の点検時、誤って手を突っ込み、慌てて引き抜いた際に、鉄柱に右側頭部を強打したことによる脳震盪の発生及び受傷前後の記憶障害となった。	26	911	3	～ 29	10
2017	11	9～ 10	集卵作業中、2号舎から5号舎へ歩行にて移動している時、薄いベニヤ板に足を取られ転倒した。その際に左足をひねり、右手を床について負傷した。	69	522	2	～ 29	10
2017	11	13～ 14	当社事業場第2牧場洗車場にて、4トンダンプ車を洗車している時に、地面に藻が生えており、滑り易くなっていたため、足元を取られ、転倒し左足首を負傷した。	43	714	2	～ 29	10
2017	11	10～ 11	出入り口付近において調教終了後の帰厩の際、該馬が付近を歩いていた厩務員に驚き突然立ち上がり、人馬転倒した際に左膝を該馬と付近の埒との間に挟まれて、同部を負傷した。	34	719	7	～ 29	10
2017	11	15～ 16	厩舎内廊下で、馬房へ馬を曳いている時に突然馬が立ち上がり、その際にバランスを崩し左足首を捻った。しばらく様子を見たが、痛みがあり腫れているので受診した。	30	911	19	～ 99	50
2017	11	10～ 11	ダンプにコンベアーで鶏糞を踏み込んでいた時、ダンプから鶏糞が溢れ出たので、慌ててダンプに行こうとして、滑り転び右足膝の内側関節部を床で強打した。	45	417	2	～ 299	100
2017	11	14～ 15	第15回競馬4日目第7レース発送後、厩舎に帰る坂道付近で、発送予定の馬とすれ違った際、興奮して立ち上がった時に転んで、ヘルメットを蹴られた時に負傷した。	50	719	6	1～ 9	
2017	11	10～ 11	養豚場の糞尿処理場において、糞尿を分離する水切板が固形分を収集する際に移動した。移動を元に戻す為に二人で作業にあたった。フックを付けたロープを取り付けて水切板を吊り上げて移動しようとした。しかし、水切板が自重等の影響で吊り上がらず、水切板からフックが外れ、顔面に当たり左眼に受傷した。	58	372	6	1～ 9	
			産廃の入った産廃箱をトラックにパワーゲートを使用し積み込もう					10

2017	11	14~ 15	とした時に、ストッパーを立てていたがゲートから落ちて来たので箱を避けようとしたが、右手の手の平を箱の角に引っ掛けて負傷した。	41	362	6	~ 29
2017	11	10~ 11	農場、集卵作業にて汚卵洗浄機稼働中に発生した。洗浄機内部に手を入れる際は、機械停止を行う事を再三注意喚起を行っていたにもかかわらず、機械を停止せず、引っ掛かった卵を取ろうとした。その際、チェーンベルトに左手が巻き込まれてしまい、中指上部のヒビ、爪が剥がれ裂傷、薬指も裂傷を負った。	46	224	7	1~ 9
2017	12	15~16	牛舎内の扉（柵）を1人で閉めようとしたところ、牛が扉に突進してきて、扉に左手首を挟まれ受傷した。翌日以降だんだんと痛みと腫れがひどくなり、後日受診し、左橈骨遠位端骨折と診断された。	46	719	7	10 ~ 29
2017	12	11~12	豚舎内にて豚を移動する作業をしているときに、豚の通路で豚と壁に足をぶつけた。	31	719	6	1~ 9
2017	12	8~9	ビニールハウスにて給水しようとしてハウス内に入ったところ、牛の水飲場が壊れていてその水が凍り、氷になっていて、その上に乗った所で滑って転倒し、左腕を打ってしまった。	59	719	2	10 ~ 29
2017	12	7~8	競走馬の調教施設内で牧草を降ろしていた所、バランスを崩し、台車に右胸をぶつけた。	67	362	3	300 ~ 499
2017	12	7~8	厩舎から衛生室へ道具を取りに向かう途中、地面の凍結に気づかず、滑って転倒した。	27	719	2	50 ~ 99
2017	12	14~15	乾乳牛舎内の掃除をする為、牛を外に移動作業中、牛に正面からぶつかった様で、その後、牛舎内の通路迄逃げて来たと思われ、そこで倒れている被災者を他の従業員が発見した。本人から、牛にやられたと聞き、その後、意識がなくなり、搬送先の病院で死亡が確認された。	61	719	6	10 ~ 29

2017	12	14~15	牛舎にて、1人で牛の治療をしていて、ワクチン接種をした際、牛が驚いて体あたりするように倒れてきて、逃げきれず、左足が牛と地面の間に挟まれて左膝を負傷したものである。	29	719	6	1~ 9
2017	12	9~10	敷地内洗い場と厩舎の間で、馴致のため、本人が調馬索を持ち、同僚が同馬を引いていたところ、突然同馬が暴れ、前へ駆け出し、左右に激しく動いた為、2人とも引っ張られ、左右に振られる状態になった。暴れる馬を抑えるため、紐を引いた際、腰に強い痛みが走った。	40	719	19	~ 29
2017	12	11~12	豚舎内で出荷選抜作業中、滑って豚柵に脇腹を打ちつけた。痛みはあったが、病院には行かず様子を見ていたが、痛みが引かず、後日病院へ行ったところ、左脇アバラ骨1本にヒビが入っていた。	27	417	2	~ 49
2017	12	16~17	種豚舎前の通路で移動中、段差につまずき転倒した。転倒時、路面は圧雪状態であった。その後数日は出勤していたが、痛みが治まらなかったため受診した。	60	417	2	~ 49
2017	12	10~11	会社所有の農場にて、豚にエサを与える為、外に設置してあるエサタンクからエサを一輪車で運ぶ際に地面が雪で凍っていて、バランスを崩し滑って転倒した。着地の際に、左足首から地面に着いて負傷した。	42	719	2	1~ 9
2017	12	13~14	当社農場内に於いて、機械のチェックをする為に機械室に入ろうと、4段ある階段を下りようとした際、誤って1階上からすべり落ち、左足首を骨折したものである。	40	413	1	~ 29
2017	12	15~16	競走馬スイミングプールの馬プール出入口付近において、該馬の運動終了後、該馬が突然ぶつかってきた際、胸部、右脇腹を蹴られ負傷した。	43	719	6	~ 29
2017	12	15~16	牧場内の別の牛舎へ移動する為、軽トラックで下り坂の砂利道を走行中、轍を踏んでハンドルを取られ、ブレーキを踏んだが、砂利で滑って前方の土手から5~6m下の田んぼに転落し、顔面と首を打撲、左足に裂傷を負った。	56	221	1	~ 99

2017	12	10~11	当社内事務所において、年末の大掃除を行っている時、ほうきを使い壁面のくもの巣払いをしていたところ、玄関階段部分（全6段）で足をふみ外し転んでしまい、下までころげ落ちてしまった。	69	414	1	~	50 99
2017	12	13~14	離乳舎の餌搬送システムが詰まり、餌が流れにくくなった為、Vベルトとプーリーの間に入れたところ、Vベルトとプーリーの間に挟まれ、不注意にも左母指を切断してしまい、救急車にて病院へ搬送された。	50	169	7	1~	9
2017	12	17~18	舎内にて、ビニールを張る作業中、立てかけていた換気扇（動いてはいない）をずらそうとして倒れてしまい、その際、右足のくるぶしあたりにあたってしまい、その箇所を後日、病院で診察を受けたところ、右足のくるぶし付近の骨折及び靭帯損傷と診断された。	75	391	5	1~	9
2017	12	13~14	当社農場の養豚場に於いて、空いた豚舎を高圧洗浄機で洗浄していたところ滑ってしまい、転倒して左足を骨折したものである。	76	417	2	1~	9
2017	12	8~9	鶏舎の上の奥で発生した災害である。鶏糞を除糞するためのベルトが切れたため、新品と交換しようとして作業をしていた。交換用のベルトを、鉄パイプを差して片側を隣のケージにのせ、交換しようとしているケージの上ののせる際に、除糞用の開口部蓋（合板）の上ののり、下のベルト（1m位）に落ちた（踏み抜いた状態）。その際、交換する前のベルトを押さえているバーと交換用ベルト（約10kg）に手を挟み、左手中指と薬指の第2関節の外側を切り、同時に右足脛を打った。	55	169	8	50 ~	99
2017	12	7~8	逍遙馬道において、調教終了後の乗運動中、該馬が突然暴れた際に落馬し、左膝を強打し負傷した。	60	719	1	10 ~	29
2017	12	15~16	厩舎内で競走馬の馬体チェックをしているとき、急に馬が暴れたので御そうとしたところ、馬の左後脚で右膝内側を蹴られた。しばらく様子を見たが痛みがあり、腫れていて動かすことができないので	33	911	6	50 ~	99

			受診した。				
2017	12	7~8	逍遙馬道において騎乗調教中、該馬が突然立ち上がったため落馬し、左腕を強打し負傷した。	39	719	1	10 ~ 29
2017	12	21~22	牛舎内にて、乳牛に注射を打っているとき（ビタミン剤）、乳牛（乾乳中）の首を保定していたが、真後ろに立ってしまったため、牛に後ろ足で蹴られた。	31	719	6	1~ 9
2017	12	11~12	当社牧場内において、競走馬の運搬のため常歩をさせていたところ、急に馬が跳ね、馬場に叩きつけられるように落馬し、負傷した。	25	719	1	10 ~ 29
2017	12	11~12	4tダンプにて堆肥を配達する業務の途中で発生した事故である。発生現場北側から三叉路へ減速せずに進入し、正面衝突を避けるために左にハンドルを切ったところ、4tダンプが右側に横転し、右腕肘から先を4tダンプと路面の間に挟み込まれた。	40	221	17	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html